

問1 えきの先（えきだめ）にふれているものの温度をはかるために使う道具の名前は何ですか。

問2 太陽が動くと、それにともなって地面にできたかげも動く現象^{げんしょう}を何といいますか。

問3 太陽を直接^{ちよくせつ}見ると目をいためてしまうため、しゃ光板を使うのはどのようなときですか。

問4 時間がたつと、太陽はどの方角からどの方角へと動いていきますか。

問5 かげができるのは、どのようなことがおこったときですか。

問6 校庭に、棒^{ぼう}（ぼう）や木、人間など、いろいろなものが立っています。太陽の光が当たったとき、これらのかげの向きはどうなりますか。

問7 温度計の目もりを読むとき、温度計に対して目の向きはどのようにしますか。

問8 日光をさえぎるものがあるとき、太陽と反対側^{はんたいがわ}にできる暗い部分のことを何といいますか。

問9 北に顔を向けたとき、右がわが東、左がわが西になるような、方向をあらわす言葉を何といいますか。

問10 温度計を使ってものの温度を正しくはかるとき、ものの温度が伝わる^{つたわ}のは温度計のどの部分ですか。

問11 日光が当たっていない暗いところのことで、地面がつめたく、少ししめっている場所を何といいますか。

問12 太陽（たいよう）から出ている光のことを、何といいますか。

問13 理科の学習で、あたたかさを表す「温度」を書き表すときに使う、「℃」という記号はなんと読みますか。

問14 日光（にっこう）が当たっている場所は、日光が当たっていない日かげとくらべて、どのようなちがひがありますか。

問15 温度計の目もりを正しく読むとき、目の高さはどこに合わせますか。

問16 日光が当たっているところのことで、地面が明るく、あたたかくて、かわいている場所を何といいますか。